

9/10 夕闇に楽の音と行灯の明かり ～上井手夜燈祭り～

▶手作りの行灯を掲げ、地元の子どもたちも参加しました。



400年以上の歴史がある伝統的な上井手夜燈まつりは開催されました。上井手上は白装束、上井手下は黒装束をまとい、日が落ちる頃から、大きな行灯や提灯を掲げて上井手神社へ向かい練り歩きました。境内へ続く石階段は行灯に照らされ、幻想的な雰囲気が漂っていました。

会場では楽の奉納や、仕掛け花火、抽選会が行われ、たくさんの歓声が上がっていました。また、打ち上げ花火も行われ、初秋の夜空を彩りました。

9/11 子どもの健やかな成長を願って ～西原大神宮秋季例大祭 にしばるさん～

▶四ツ山幼稚園の子どもたち。みんな元気で大きくなっただね！



「にしばるさん」として親しまれている西原大神宮で、秋季例大祭は行われました。

にしばるさんは子どもの神様として信仰されていて、子どもの誕生を祝う人や、健やかな成長を願う人が訪れます。また、同神宮では神の使いである鶏の絵が描かれた絵馬に子どもの年齢と名前を書いて奉納する習わしもあります。

当日は小さな子どもを連れた家族や、遠方に住む孫の健康を願う人などが訪れて、おはらいを受けていました。

9/17 地域も子どもたちをサポート ～緑ヶ丘小学校へ折りたたみ椅子寄贈～

▶三露地区協議会会長、緑ヶ丘小6年寺中唯さん、小島校長。(右から)



緑ヶ丘小体育館で行われた全校児童集会で、緑ヶ丘地区協議会は折りたたみ椅子 50 脚を緑ヶ丘小学校へ寄贈しました。

今年初めての開催となる地区協議会主催の「みどりまつり」の会場に緑ヶ丘小体育館が使用されることと「地域で子どもたちを育てる」という協議会の思いから、椅子が贈られることになりました。

寄贈された椅子は今後の学校行事などに活用されます。

9/22 力作できたかな？ ～万田坑スケッチ大会～

▶万田坑の芝生広場は親子連れでにぎわいました。



秋晴れの空の下、万田坑でスケッチ大会は開催されました。同大会は歴史的建造物である万田坑を描くことで郷土愛を育み、世界遺産登録への機運を高めようと荒尾青年会議所の主催で毎年行われています。当日は、家族連れなど 270 人ほどが参加し、思い思いの万田坑を画用紙いっぱいのにびのにびと描いていました。

世界遺産候補として推薦が決定した直後の万田坑は、多くの一般見学者も訪れ、一日中にぎわっていました。

9/13 良いご縁がありますように ～四山神社秋季例大祭 こくんぞさん～

▶巫女の衣装に身を包み、艶やかな舞を奉納した子どもたち。



四山神社でこくんぞさんが行われました。この祭りでは福銭と呼ばれる五円を借り、次のお礼参りで倍額以上を添えて返すのが習わしです。五円は神様と金運にご縁があって商売繁盛・縁結び・家庭円満のご利益があり、穴銭は望みが通るといわれています。当日は地元の子どもたちが浦安の舞と豊栄の舞の奉納を行いました。

また、境内横の三池港灯台の一般公開も行われ、参拝を終えた人などが灯台に上り、四ツ山からの景色を楽しみました。

9/14 ご長寿 おめでとうございます ～敬老大会～

▶謝辞を述べる金子さんと坂井さん。(右から)



荒尾市老人クラブ連合会と市が共催して、敬老大会を文化センターで開催しました。今年、市内では 357 人が米寿を迎え、表彰が行われました。代表の坂井幸弘さん（月田区）と金子千代子さん（桜山町三丁目）が記念品を受け取り、謝辞を述べました。また、老人クラブ連合会の功績者などの表彰も行われました。式典後のアトラクションでは、保育園児による遊戯や、各地区老人クラブ選抜者によるコーラスなどが披露され、700 人ほどの来場者を楽しませました。

9/22 詩情を味わい秋を楽しむ ～海達公子文学散歩道ウォーク＆ラリー～

▶スタッフからスタンプリナーの説明を受ける参加者。



荒尾市出身の少女詩人・海達公子の詩碑やゆかりの地を巡る文学の散歩道ウォーク＆ラリーが開催されました。このイベントは、一般社団法人海達公子顕彰会の主催で、今回で 9 回目を迎えます。県内外から 100 人ほどが参加し、公子の詩や荒尾の風景を楽しみながら歩きました。

現在 20 基ある詩碑は、今年中に新たに建立され、23 基に増えます。

参加者は「公子の詩を楽しみながら、いい運動ができました」と、話していました。

9/26 共に歩んで 50 年 ～第 55 回金婚夫婦表彰式～

▶謝辞を述べる吉川澄廣さん（右）、優子さん（左）夫妻。



第 55 回金婚夫婦表彰式は文化センターで行われました。この表彰式は、昭和 34 年から熊本日日新聞社と市が共催で行っているもので、結婚 50 周年を迎えた夫婦を祝い表彰しています。今年は 55 組の夫婦が祝福を受けました。

式では、吉川澄廣さん、優子さん夫妻（月田区）が代表として表彰状と記念品を受け取り、「周りの人たちに支えられて金婚を迎えることができました。これからも健康で楽しく過ごしたいです」と、謝辞を述べました。